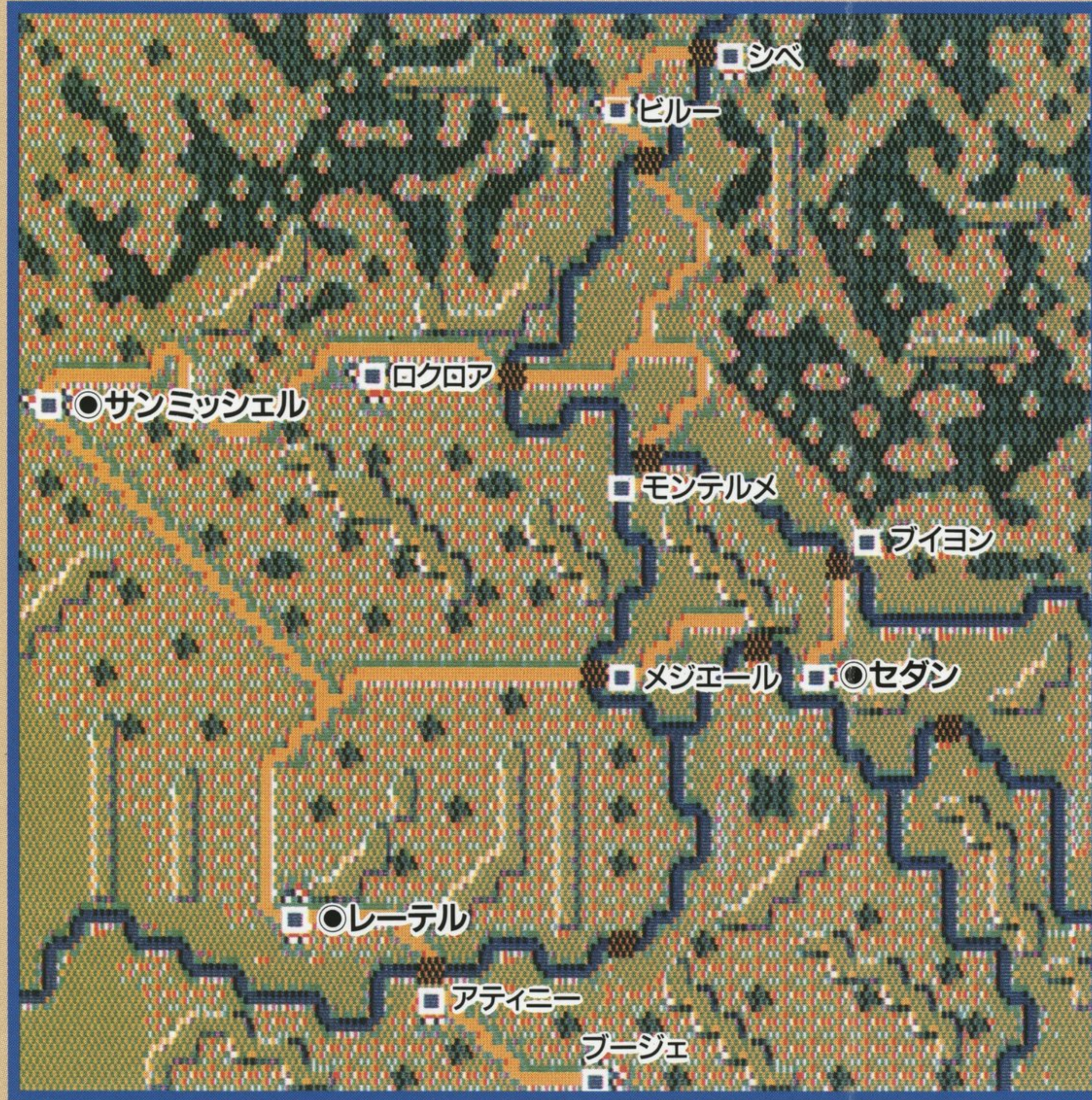




ヨーロッパ戦線

シナリオ1 ■フランス侵攻戦

1939年9月、ドイツのポーランド侵攻により第二次世界大戦が勃発、イギリス・フランスとドイツは戦争状態に入った。ドイツの侵攻はオランダ、ベルギーの突破を目指すという推測にもとづき、連合軍は中部ベルギーに主力を展開した。しかしドイツ軍はその裏をかき、防御の手薄なアルデンヌ地帯に主力装甲部隊を集結、攻勢を開始した。



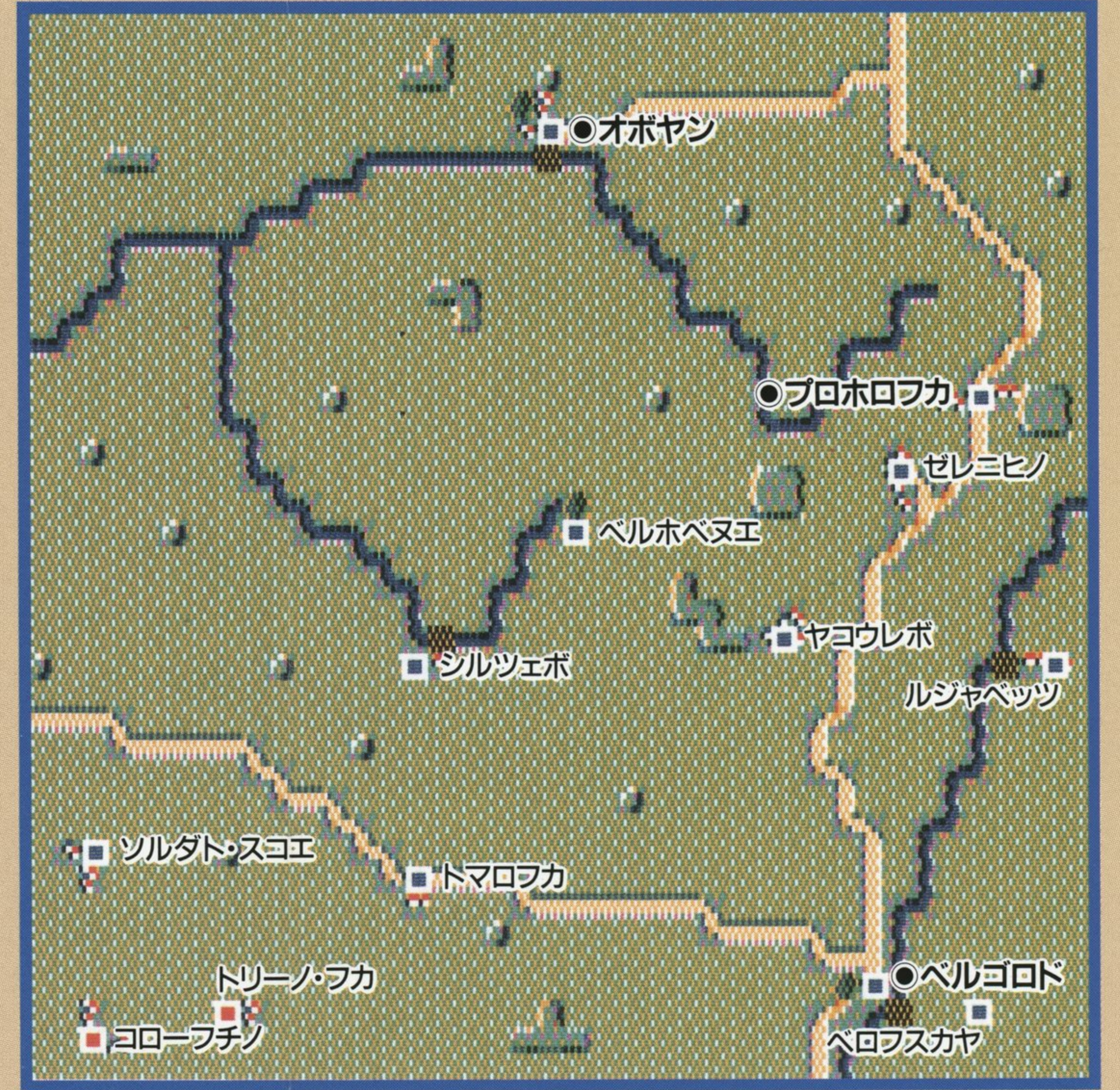
シナリオ2 ■北アフリカ戦

敗走するイタリア軍を立て直すため投入されたドイツアフリカ軍団はイギリス軍を300キロも東へ押し戻す快進撃を見せたが、トブルク周辺で阻止され、砂漠戦は消耗戦の様相を呈し始めた。補給量の豊富なイギリス軍を前に、ロンメルは短期決戦を決意し、トブルク攻略の作戦を立案した。1941年5月26日アフリカ軍団は後方から回り込み、急襲をかけた。



シナリオ3 ■クルスク機甲戦

1943年、東部戦線は小康状態に入っていた。ヒトラーはクルスク突出部に集結していたソ連軍を包囲撃滅するという作戦に目をつけた。作戦は5月に実施される予定であったが、ヒトラーは新型戦車パンターが戦線に投入できる7月まで攻撃を延期させた。ソ連軍はクルスクに大防衛陣地を構築し、ドイツを待ち受けていた。同年7月5日攻勢が開始された。



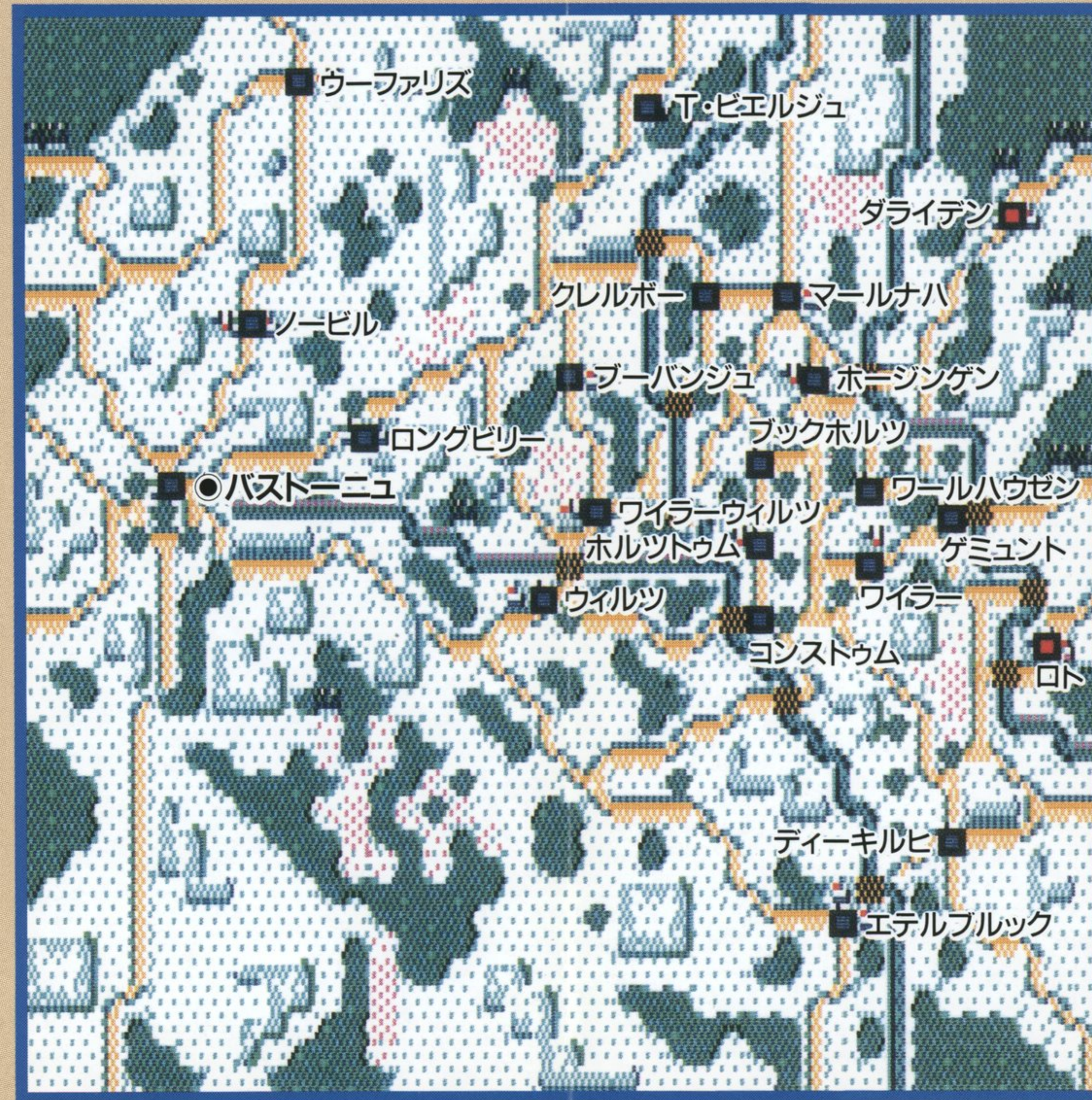
シナリオ4 ■ノルマンディーの戦い

1944年初頭、ドイツ軍はソ連領から後退を始め、地中海からは駆逐されていた。西側連合軍はヨーロッパ大陸への大規模な上陸作戦「オーバーロード」作戦を準備し始めた。一方ドイツ側は海岸線沿いに「大西洋の壁」と呼ばれる陣地を構築し、ロンメルを指揮官として防備を固めていた。1944年6月6日、「史上最大の作戦」が幕を開けた。



シナリオ5 ■バルジの戦い

ドイツ敗北は必至と見られた1944年、ヒトラーは一大反攻作戦をドイツの総力を上げて準備した。それは西部戦線のアルデンヌで反撃を行い連合軍の補給港であるアントワープを奪取するという、とうてい実現不可能と思われるものだった。しかし、連合軍はこの奇襲を察知していなかった。1944年12月16日ヒトラー最後の賭けが幕を開けた。



シナリオ6 ■ベルリン攻防戦

1945年4月、ドイツは破滅への道を行っていた。ベルリン征服の栄光は、ソ連軍に譲られた。ベルリン攻撃軍として驚異的な大軍が集結した。150個師団、250万の兵、4万1600門の砲、6300両の車両、8400機の航空機である。対するドイツ軍は首都防衛に30個師団しか用意していなかった。1945年4月16日、ベルリン前面の死闘が開始された。

